

令和6年度 主題研究（学びチャレンジリーディングスクール事業）計画案

研究主任

1. 研究主題

協働的な学びの実現を目指す「考えを深める」授業の在り方

2. 研究仮説

学級活動の時間の話し合い活動を通し、「よりよく話し合えることができる力」を児童に身に付けさせるとともに、他の教科等で話し合う活動の工夫をすれば、「考えを深める」授業を実践でき、協働的な学びを実現できるであろう。

3. 仮説検証の方法

児童に対し、「研究主題に関するアンケート調査」を実施し、調査結果から研究の成果を検証する。

(1) 学級会のことに関するアンケート調査

①	何のために話し合っているのか分かる。
②	時間を意識して話し合えることができる。
③	友達の意見のよいところを考えながら、聞くことができる。
④	自分の意見を進んで発表できる。
⑤	友達の意見を聞いて、比べたり、付け加えたり、新しい意見を考えたりすることができる。

(2) 学級会以外の授業のことに関するアンケート調査

①	話し合いのとき、何を話し合っているのか分かる。
②	話し合いのとき、時間を意識して話し合えることができる。
③	話し合いのとき、友達の意見のよいところを考えながら、聞くことができる。
④	話し合いのとき、自分の意見を進んで発表できる。
⑤	話し合うことを通して、考えや答えを見つかったり確かめたりすることができる。

4. 主題設定の理由

- (1) 学びチャレンジリーディングスクール第1期の取組で話し合う活動は、“設定”するのみにとどまっていて、学校全体で具体的な共通の取組をすることができなかった。
- (2) 第1期のアンケート調査の結果から、「書く活動」「振り返りの活動」と比べると、話し合う活動に関する項目の得点がやや低かった。
- (3) 学級活動において、「問題の発見・確認」→「解決方法等の話し合い」→「解決方法の決定」→「決めたことの実践」→「振り返り」の一連の活動を繰り返すことで、児童一人一人が進んで自分の考えを発表できるようになることや、学級が互いの考えを尊重し、みんなで一緒になって問題を解決できるようになることが考えられる。児童一人一人に自分の考えを伝える力が身に付き、互いを尊重して認め合う支持的な学級の風土が醸成されれば、様々な教科等での話し合い活動の活性化につながり、学習意欲や学力の向上が実現できると考える。

○ 第1期学びチャレンジリーディングスクール事業の本校の取組

- ・ 書く活動・話し合う活動の設定
- ・ 構造的な板書づくり
- ・ 振り返りの時間の設定・視点の明確化

○ 研究の成果と課題（令和4年度実施アンケート調査の結果）

	質問	平均点		
		6月	12月	変化
A	話し合いでは、自分の考えやそのわけを伝えることができる。	3.1	3.1	±0.0
B	話し合いでは、みんなの考えをまとめることができる。	2.8	2.9	+0.1
C	話し合いでは、友達とよりよい考えを生み出すことができる。	3.0	3.1	+0.1
D	自分の考えやそのわけをノートに書くことができる。	3.3	3.3	±0.0
E	学習の最後に黒板に書かれていることを見て何を学習したか振り返ることができる。	3.3	3.2	-0.1
F	学習の最後に自分の言葉でまとめや振り返りを書くことができる。	3.2	3.3	+0.1
G	自分ができるようになったことを振り返りとしてノートに書くことができる。	3.3	3.3	±0.0
H	自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	3.0	3.0	±0.0
I	「自分は成長している」「できることが増えている」と思う。	3.5	3.5	±0.0

※ 「とても当てはまる」を4点、「少し当てはまる」を3点、「あまり当てはまらない」を2点、「全く当てはまらない」を1点として平均点を計算

5. 学級活動の時間を中心とした話し合い活動の充実の利点

(1) 「考えを深める」話し合いを実現しやすい

学級活動では、自分たちの生活に直結していること（お楽しみ集会の内容等）を話し合い、話し合ったことを実践するので、児童一人一人が本気で考え、自分事として捉えて意見を言う。また、決定する際には、「私が…」ではなく、「学級としては…」という思いで話し合うので、「考えを深める」話し合いを実現しやすい。児童一人一人が話し合い活動に対する達成感・充実感を得やすく、「他の教科等でも話し合いたい」という気持ちをもつことにつながる。

(2) 学級づくりの基盤となる

学級活動での話し合い活動を充実させることで、児童一人一人が安心して自分の思いを話せる学級の雰囲気や支持的風土の形成ができる。

6. 年次計画

(1) 1年次

学級活動の時間を中心とした話し合い活動の充実と話し合う力の育成

(2) 2年次（本年度）

学級活動での話し合う力の向上とともに教科等での話し合う活動の工夫

(3) 3年次

お互いの思いを生かした考えを深める話し合う活動の実現

7. 仮説実証のための具体的な手だて

[基本となる手だて]

(1) 板書を活用した思考の可視化・操作化・構造化

児童から出された意見を短冊などに書き出して黒板に貼ったり、同じ内容のものを分類してまとめたりすることで、お互いの理解を深められるようにする。また、話し合いの過程で変化する考えを、短冊を動かすことで表したり思考ツールやマークなどを活用したりすることで、合意形成に向けた話し合いの流れや考えを捉えやすくする。

「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動」（P 5 4）

(2) 教師の指導助言の工夫

「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動」（P 5 6）

(3) 話し合いの振り返りの仕方の工夫

「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動」（P 5 7）

[2年次の取組]

(1) 2年次の取組の目標

① 児童が考えを深めることができるようにする

学級活動において、「問題の発見・確認」→「解決方法等の話し合い」→「解決方法の決定」→「決めたことの実践」→「振り返り」の一連の活動を繰り返す中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を総合的に生かしながら、集団及び個人の問題の解決に活用していくことで児童が考えを深めることができるようにする。

② 支持的な学級の風土を醸成して協働的な学びを実現する

学級活動を中心として、児童が自発的・自立的な活動により、学級や学校におけるよりよい生活や人間関係をつくるとともに、お互いを尊重し、認め合う支持的な学級の風土を醸成することで協働的な学びを実現できるようにする。

③ よりよく話し合うことができる力を高める

学級会において、議題について一人一人の児童が考え、自分の意見を出し合ったり、多様な考え方や価値観を共有したりしながら、学級としての考えや取り組むことについて、みんなが納得できるような解決策を見付け、合意形成を図る経験を重ねることで、児童のよりよく話し合うことができる力を高める。

(2) 具体的な取組

① 継続的な学級活動の実践と授業研究

全学級で年度当初から、下記の今年度の課題に焦点を当てながら学級活動を実践して回数を重ねる。また、授業を見学し合い、よりよい学級活動の在り方について学ぶ。

週1回の学級活動を確実に実施し、少なくとも年間10回以上の学級会（代表委員会の議題を除く）を行う。

- ・ 時間を意識した話し合い
- ・ 板書の整理と短冊の使い方
- ・ 合意形成のタイミング
- ・ 意見のまとめ方
- ・ 少数意見や反対意見の扱い方

② 教科等での話し合う活動の工夫

学級活動で築いた「考えを深める力」「支持的な学級風土」「よりよく話し合うことができる力」を生かし、教科等での話し合う活動を工夫する。下記のような学級会での話し合いの工夫を教科等での話し合う活動にも生かす。

- ・ 一人一人の児童が自分の考えをもって話し合いに臨めるようにするための事前の活動
- ・ 「出し合う」→「比べ合う」→「まとめる」の話し合いの流れ
- ・ 板書の整理の仕方や短冊の活用

③ 講師の先生の指導・助言からの学び

東筑紫短期大学の脇田哲郎先生に講師として来校していただき、指導・助言をしていただき実践を深める。11月29日の公開授業に帝京大学教授の安部恭子先生に来校していただき、指導・助言をしていただき、その後の実践と3年次の実践に生かす。

8. 本年度の計画

(1) 研修予定

4月 3日 (水)	○ 主題研修「研究内容・計画について」	○ 週1回の学級活動実施(少なくとも年間10回以上の学級会実施) ○ 教科等での話し合う活動の工夫の実践 ○ まとめ作成(公開授業・A研授業・C研授業が終わった学級から)
4月 4日 (木)	○ 主題研修「学級会の進め方」 ・ 新任・転任の教員と希望者での研修	
4月 5日 (金)	○ 公開授業・A研授業・C研授業の日程と授業者決定	
4月15日 (月)	○ 学級活動年間計画作成(全学年)	
4月19日 (金)		
5月22日 (水)	○ A研授業(宮田先生による提案授業)	
5月27日 (月)	○ 2～6年生アンケート調査	
6月 3日 (月)	○ 1年生アンケート調査	
6月12日 (水)	○ A研授業(5年)	
7月 3日 (水)	○ A研授業(1年)	
10月15日 (火)	○ 自然教室(5年生)	
10月16日 (水)		
10月18日 (金)	○ A研授業(4年)	
11月19日 (火)	○ 修学旅行(6年生)	
11月20日 (水)		
11月29日 (金)	○ 学チャレ公開授業(2学級) ・ 帝京大学教授の安部恭子先生来校	
12月16日 (月)	○ 全学年アンケート調査	
1月 7日 (火)	○ 各学級のまとめ最終締切	
1月 8日 (水)	○ 学校のまとめ作成	
1月24日 (金)		
2月 5日 (金)	○ 主題研修「まとめ」	